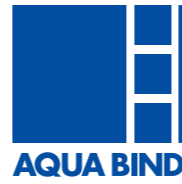


ボンド アクアバインド工法とは

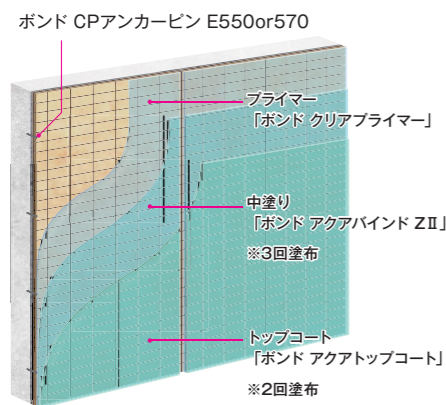


既存のタイルを活かしながら、
長期的な剥落対応ができる工法です。

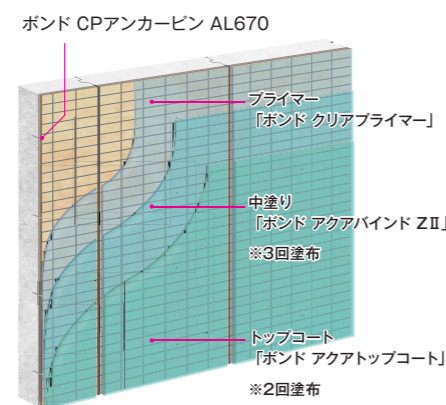
コンクリート下地に加えて
ALCパネル、押出成形セメント板(ECP)に
対応可能です。

下地

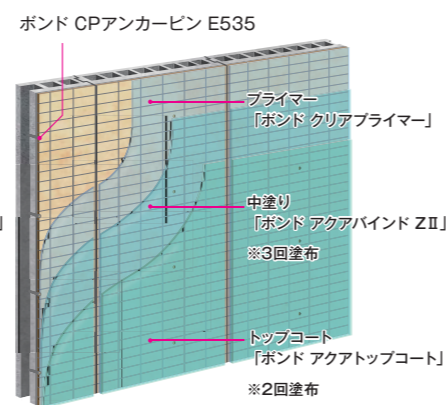
コンクリート



ALCパネル



押出成形セメント板(ECP)



部位・材料

ラスタータイル

現場サンプルを弊社にて確認後、
施工の可否判定を実施

シーリング材

シーリング材は、「ボンド PSシール®」
「ボンド MSシール®」または
「ボンド MSシール® 超耐久」を使用

工法適用条件

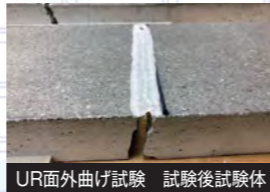
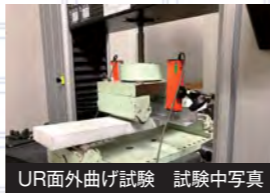
- ① アンカーピンの引抜き強度はエポキシ樹脂併用で1,800N以上あること。
 - ② アンカーピンをコンクリート躯体に25mm以上埋め込むことができること。(コンクリート下地の場合)
 - ③ 建物の高さは45m以下であること。(コンクリート下地の場合)
 - ④ タイルは磁器質・せっ器質とし、平面または凹凸の小さい面状であること。
 - ⑤ タイルは光触媒加工がされていないこと。
 - ⑥ タイルに防汚コーティング等特殊塗材の施工がないこと。
 - ⑦ タイルのサイズは2丁掛け以下であること。
- ※これらの条件を満たさない場合、別途お問い合わせください。
※ALCパネル、押出成形セメント板(ECP)に関しては、標準施工マニュアルを参照ください。
※斜壁部に関しては、別途お問い合わせください。

1 優れた剥落防止性能

UR都市機構の定める品質判定基準 試験結果

一般財団法人ベターリビングでの試験

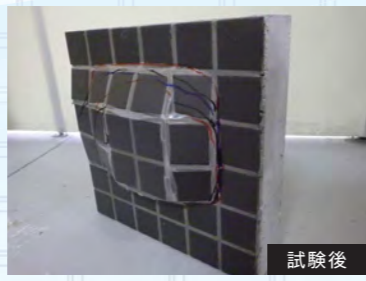
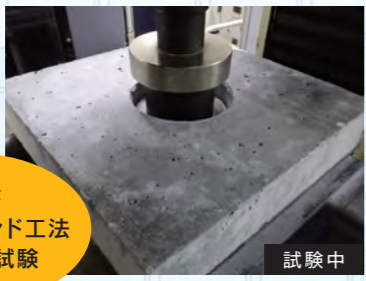
試験番号	試験項目	試験結果	要求性能※	判定
1	コンクリート躯体に対するアンカーピンの引抜き試験	2,996N	1,470N以上	適合
2	複合補修層に対するアンカーピンの引抜き試験	4,108N	1,470N以上	適合
3	複合補修層の接着強度試験	タイル張り:2.1N/mm ² 仕上げなし:6.4N/mm ²	0.7N/mm ² 以上	適合
4	複合改修層の補強効果確認(面外曲げ)試験	変位30mmまで破断なし	曲げ荷重が490Nもしくは変位30mmで破断しないこと	適合
5	温冷繰返しによる耐久性試験	タイル張り:2.0N/mm ² 仕上げなし:5.2N/mm ²	0.5N/mm ² 以上	適合



※保全工事共通仕様書 機材及び工法の品質判定基準仕様登録集

剥落防止性能 確認試験

試験体：コンクリート板(300×300×60mm)、φ100mmコア削孔、陶磁器質50mm角タイル貼り
 養生：試験体に「ボンド アクアバインド工法」を施工し、23℃(50%)条件にて7日間養生
 試験方法：試験体裏面より5mm/minにて載荷し、載荷変位に伴う剥落防止層の状態を確認



その他 塗膜物性

試験番号	試験項目	試験結果	判定基準	
1	引張強さ	43.2N/mm ²	2.3N/mm ² 以上	
2	引裂強さ	114.1N/mm	14N/mm以上	
3	劣化処理後の引張強さ比	加熱処理	116.2%	80%以上
		促進曝露処理	84.7%	60%以上
		アルカリ処理	85.5%	60%以上
4	耐疲労性試験	異常無し	2000回伸縮後、塗膜の破断等がないこと	
5	透水性試験	0ml	24時間後、透水量0.5ml以下	

※試験方法及び判定基準 JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 ウレタンゴム系 参考 透水性試験 JIS A 6909 建築用仕上塗材 参考



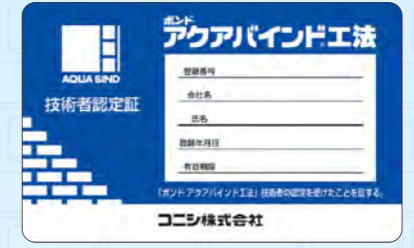
2 現場環境への配慮

剥落防止層の主材料である「ボンド アクアバインド ZII」及び「ボンド アクアトップコート」は水性形製品であるため、溶剤形製品特有の刺激臭がありません。また、「ボンド アクアバインド工法」に用いる各材料は、JAIA F☆☆☆☆(日本接着剤工業会室内空気質汚染のための自主管理規定)及びJAIA 4VOC(日本接着剤工業会室内空気質汚染対策のためのVOC自主管理規定)に適合しています。

3 高品質な施工

施工技術者認定制度で確かな施工品質

「ボンド アクアバインド工法」の剥落防止性能は現場での施工技術に大きく左右されます。製品特長、使用方法などの施工に関する知識を十分に理解した上での施工が求められます。したがって、「ボンド アクアバインド工法」は品質の確保・徹底を図るため、施工技術を習得した認定技術者による施工体制をとっています。



膜厚検査で施工の確かさを確認

剥落防止性能は中塗り材(ボンド アクアバインド ZII)の膜厚に依存します。「ボンド アクアバインド工法」は専用の膜厚計を用いることで剥落防止性能を有する膜厚の確認ができます。



4 さまざまな保証による安心



剥落に対して**最長10年間**の保証



第三者賠償責任保険付

工事完了後10年間第三者に対する賠償事故を最高2億円まで補償する保険



次回改修フローご提案

既存「ボンド アクアバインド工法」の膜厚、付着力を確認することで、適した改修方法をご提案。最長10年の保証延長対応が可能になりました。※詳細は、別途お問い合わせください。

